

1. 行政一般

	日時	年代	～ 20	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代～	不 明	住所	タイトル	意見等
1	2024/5/1	70代以上							1		徳島市	浸水被害住宅への技術対策	能登半島への支援も含めて多くの県職員や関係者が支援に訪れ、その対応を学び、徳島での地震災害に役立てようと努力をされています。しかし、これから梅雨時期に入り県内各地で大雨による浸水被害も予想される時期になりました。浸水被害は、地域の身近な災害として、どうしても市町村まかせのところがあるように感じています。昨年度、建築士会連合会災害対策委員会で添付の「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」を作成しました。そして、全国の建築士会で建築技術者や行政職員への研修を、災害対策委員長として実施してきました。4月25日に実施しました大阪府建築士会の講習会をもって4年間務めた委員長の仕事も無事に終了することができました。これからは、徳島県で市町村の職員に対して、しっかりと浸水被害住宅の対策を伝えることが必要であると感じています。知事には、是非、県の指導力を発揮していただき、市町村職員の技術力の向上を目的とした研修会を開催して頂けますように、お願い申し上げます。
2	2024/5/2	30代			1						鳴門市	持続可能な地域交通の存続について	○持続可能な地域交通の存続のためには、徳島県内のJRの各在来線に上下分離方式(例 近江鉄道の上下分離方式)の導入又は地域密着型の新たな第3セクター会社(例 第3セクター会社の土佐くろしお鉄道、伊賀鉄道、養老鉄道、松浦鉄道など)を設立して、地域交通を守られなければならない。財源の原資は、地域公共交通税を導入して、自動車保有者の所得税、個人住民税等から幅広く徴収する。 ※ 公共交通輸送機関たる鉄道やバスを利用しない自動車保有者がすべて悪い。 ※ 松浦鉄道は駅を増やして鉄道利用者を増やした。
3	2024/5/2	30代			1						鳴門市	人材確保戦略について	○後藤田正純徳島県知事が人材確保戦略においては、地方創生・地方再生を行う地域おこしプロジェクトマネージャー、地域おこしディレクター、地域おこしアドバイザーの人材確保をしなければならない。【徳島県プロジェクト】⇒島根県海士町の地方創生・地方再生の取り組み事例 ※ 具体的には「とくしま★マチ★アソビ」の開催運営に関する企画担当・立案担当・広報宣伝担当の業務 ※ 具体的には「大塚国際美術館・システイナ歌舞台」の開催運営に関する企画担当・立案担当・広報宣伝担当の業務 ※ 具体的には「エキサイティング・サマー・イン・ワジキ」の開催運営に関する企画担当・立案担当・広報宣伝担当の業務 ・徳島の「フジロックフェスティバル」にする ※ 具体的には「うだつをいける」の開催運営に関する企画担当・立案担当・広報宣伝担当の業務
4	2024/5/6	30代			1						鳴門市	徳島県の行財政改革について	○後藤田正純徳島県知事は身を切る行財政改革で、知事報酬の削減(月額給制にする⇒ノーワーク・ノーペイの原則)、知事賞与の廃止(夏季賞与及び冬季賞与)、知事文書通信費の廃止(国会で問題になっている)、知事交通旅費の廃止(国会で問題になっている)、知事交際費の廃止(国会で問題になっている)で徳島県の行財政改革を前へと進めなければならない。そして、後藤田正純徳島県知事は徳島県民一人一人に十万円の特別定額給付金の支給をしなければならない。 ※ 徳島県民一人一人は新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による物価高騰で生活が苦しい。 ※ 徳島県民一人一人の費用負担の軽減を行う。⇒電気料金、ガス料金、上水道料金、下水道料金、保健医療費等の公共料金
5	2024/5/9	30代			1						鳴門市	徳島新時代へ躍り出そう	○後藤田正純徳島県知事は徳島新時代へ躍り出そうにおいては、元氣・希望(のぞみ)・信義誠実・中立・公正・公平・温もりある躍動する「徳島新時代へ躍り出そう」でなければならない。 ※ 仕事を増やすこと並びに雇用拡大を行う。⇒企業立地の推進、中小企業への支援対策 ※ 徳島県民一人一人の生命と健康を守る。⇒保健医療体制の充実、総合診療医の確保、国民健康保険の保険料の引き下げ ※ 安全・安心して住める徳島県へ⇒公共輸送機関の確保(地域コミュニティバスなど)、南海トラフ地震対策
6	2024/5/10	30代			1						鳴門市	徳島県民参画基本方針～透明度UPに向けて～	○ 徳島県民参画基本方針は「徳島1チーム」で前へ前へと進めなければならない。
7	2024/5/11	30代			1						鳴門市	知事定例記者会見について	・後藤田正純徳島県知事は迅速かつ早期の用地買収交渉締結のために、用地買収交渉担当職員のモチベーション向上で用地買収交渉手当を月額1万円にしなければならない。
8	2024/5/11	30代			1						鳴門市	徳島新未来創生総合計画について	○後藤田正純徳島県知事が新藤義孝内閣府特命担当国務大臣(経済財政政策)を通じて、徳島県が「徳島経済技術開発構造改革特区」の認定が受けられるようにしなければならない。 1. 海外の資本・海外の専門的知識や専門的技術のある高度人材(博士号の学位を有する外国人・特許発明者の外国人など)、海外の高度最先端技術(航空宇宙工学・量子工学など)、海外の高度最新情報を徳島県に呼び込んで、徳島県の経済成長並びに徳島県の経済発展を行う。 ※ 理学博士の学位を有する外国人教授並びに工学博士の学位を有する外国人教授 ※ 医学博士の学位を有する外国人教授並びに薬学博士の学位を有する外国人教授 ※ ノーベル物理学賞を受賞した中村修二氏(カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授) 2. 三菱商事の三綱領の一つの「立業貿易」の実践を行う。 ※ 徳島県が「国際貿易物流流通立県 とくしま」へと躍り出る。⇒グローバルな視野に立っての対外貿易を促進する。 ※ 徳島県が海外への販路拡大や新規販路開拓を推進する。 3. 徳島県が港湾管理者たる徳島小松島港を国土交通省国務大臣から「国際拠点港湾」の認定を受ける。 ※ 徳島県が「徳島国際貿易センター」の開業を行う。⇒ 例 愛媛国際貿易センター ※ 徳島県が「徳島国際見本市展示会場」の開業を行う。 ※ 徳島県が海外の大型クルーズ旅客船の誘致促進を行う。 4. 徳島県が「徳島バッテリーバレイ構想」の推進を行う。 ※ 百人以上雇用できるバッテリー関連企業の百社以上の企業立地を行う。⇒徳島バッテリーバレイ万人新規雇用拡大事業を行う。 ※ 船舶用バッテリー水素燃料電池の研究技術開発の推進 ※ 航空機用バッテリー水素燃料電池の研究技術開発の推進

1. 行政一般

	日時	年代	～20	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	不明	住所	タイトル	意見等
9	2024/5/12	30代			1						鳴門市	徳島新未来創生総合計画について	○後藤田正純徳島県知事は徳島県民一人一人と約束した「徳島県民主役の県政に」を実行しなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は徳島県民一人一人と約束した「トップセールで県産品を全国へ世界へ」を実行しなければならない。 ※ 具体的には、徳島県を「日本の台所・世界の台所」にする。徳島県を「日本の新鮮食料供給基地・世界の新鮮食料供給基地」にする。 ※ 具体的には、三菱商事と一体となった地域商社の設立による「地産外商業」で更なる販路拡大と新たな新規販路開拓を行う。 ○後藤田正純徳島県知事は徳島県民一人一人と約束した「日本一の教育環境づくり」を実行しなければならない。 ※ 具体的には、徳島県に慶応義塾大学徳島中等教育学校の開校を行う。 ※ 具体的には、徳島県に世界の名門大学の誘致開学を行う。 ※ 具体的には、県立の中高一貫学校を増やす。 ⇒旧制の五年制の中学校(旧制徳島県立徳島中学校など)や旧制の五年制の高等女学校(旧制徳島県立徳島高等女学校など)は理にかなっていた。 ○後藤田正純徳島県知事は徳島県民一人一人と約束した「雇用政策プラットフォームの新設で雇用拡大の促進」を実行しなければならない。 ※ 具体的には、百人以上雇用できる百社以上の企業立地による「徳島県一万人新規雇用拡大事業」の実施 ※ 具体的には、正社員の完全雇用率100%の達成の実現を行う。⇒県民住民税の増収 ○後藤田正純徳島県知事は徳島県民一人一人と約束した「概存の観光名所のブラッシュアップで誘客」を実行しなければならない。 ※ 具体的には、鳴門をタイのプーケットと同等な世界有数のリゾート地にする。 ※ 具体的には、三好市祖谷地域を「日本の原風景」にする。 ※ 具体的には、美馬市脇町のうだつの町並みを「徳島の小江戸・川越」にする。 ※ 具体的には、美波町を「徳島の千葉・御宿」にする。⇒漁業体験＋漁家民宿のブルー・ツーリズムの推進
10	2024/5/13	30代			1						鳴門市	徳島新未来創生総合計画について	○後藤田正純徳島県知事は徳島県民と約束した「生まれて良かった 美しいふるさと徳島県」、「住んで良かった 美しいふるさと徳島県」、「いつも帰りたい 美しいふるさと徳島県」、「ずっと居りたい 美しいふるさと徳島県」を実行しなければならない。そして、東京一極集中主義を解決しなければならない。 ※ 具体的には、徳島県への「大塚製薬HDの丸ごと一括とくしま回帰事業」の実施 ※ 具体的には、徳島県への「三菱商事本社の丸ごと一括とくしま移転事業」の実施
11	2024/5/15	30代			1						鳴門市	徳島デジタル推進プラン2025	○徳島県がデジタル6Gによる徳島県全県CATV世帯普及率100%の実現を行う。 ※ 徳島県は自主放送あり並びに自主放送なしを含めて、徳島県全県におけるCATV世帯普及率は93% ※ 徳島県内全てのCATV局の加入者が讀賣テレビ放送が視聴できるようにする。⇒四国放送テレビは「遠くへ行きたい」を放送してくれない。 ※ 徳島県内全てのCATV局の加入者が「FMびさん」が聴取できるようにする。 ※ デジタル地上波テレビ放送の合区が存在する。 ・香川県並びに岡山県(RSK山陽放送⇒先日の徳島ヴォルティス対フアジャアノ岡山の試合はRSK山陽放送『山陽新聞社系』で香川県と岡山県で視聴できた、OHK岡山放送⇒四国アイランドリーグの筆頭株主、RNC西日本放送『四国新聞社系』、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち) ・鳥取県並びに島根県(BSS山陰放送、NKT日本海テレビジョン『日本海新聞社系』、TSK山陰中央テレビジョン『山陰中央新報系』)
12	2024/5/16	30代			1						鳴門市	徳島新未来創生総合計画について	○後藤田正純徳島県知事が主体となつて「四国州」を創設する。そして、四国州の首都の所在地は関西の玄関口・ゲートウエイとなる徳島市にする。併せて、徳島県東部圏域たる徳島市とその他の市町村(鳴門市・小松島市・松茂町・北島町・板野町・上板町・石井町・神山町・勝浦町・上勝町・佐那河内村)とが統合して中核市たる新徳島市となり、徳島県全体のポテンシャルを高める。 ※ 市の格付け⇒松(政令指定都市【札幌市・仙台市・新潟市・横浜市・川崎市・相模原市・さいたま市・千葉市・静岡市・浜松市・名古屋市・京都市・大阪市・堺市・神戸市・岡山市・広島市・福岡市・北九州市・熊本市】)、竹(全国の中核市)、梅(政令指定都市及び中核市以外の市) ※ 三重県の県庁所在地の津市(名古屋市まで66.4kmの津市は名古屋市の通勤圏・通学圏⇒近鉄特急の名阪特急や伊勢志摩ライナーがすべて停車する。)、佐賀県の県庁所在地の佐賀市は中核市へ移行に向けて準備中
13	2024/5/21	60代						1			徳島市	外来駐車場について	外来駐車場の白線が薄くなっていて、雨天時に白線が見えなくて駐車場しにくい。1台の駐車スペースの幅が狭すぎる、ドアの開閉ができない、隣の駐車している車に傷つけたり、傷つけられたりトラブルの元になりかねない。 はばを広げて白線を引き直して欲しい。
14	2024/5/21	60代						1			吉野川市	道路工事の看板について	本日、令和6年5月21日に県道・西麻植下浦線、石井町浦庄を通行したのですが、工事看板が残っていました。 看板の期間は令和5年9月28日～令和6年5月14日でした。工事が終わって、工期も過ぎているのに工事看板が残っているのはおかしくないですか。 工事看板等(仮設)の撤去も含めて、工期内に工事が完了するべきだと思います。 また、徳島県の道路工事の看板は、設置基準が守られていません。 見づらく汚い看板や、視認性に欠ける看板が多いように思います。 道路工事の看板については国の通達で、平成18年3月に設置基準が変わっているにもかかわらず、徳島県では、いまだに「道路工事中」の古い様式の看板が使用されています。 国や他県の工事は適正に設置されているのに徳島県はまだ古い様式を使用しており、基準が守られていません。 他県は、適切に設置されているのに徳島県ができていないのは、情けないような気がします。 県の職員、工事施工業者は、共通仕様書や設置基準等を読んで仕事をしているのでしょうか。 設置基準では、道路工事の施工区間の起終点に道路利用者がわかりやすいところに設置するとなっていますが、多くの現場では、施行箇所の中央部に通行者(運転者)から見づらいところに1つだけ設置されているのがほとんどではないでしょうか。 公共工事は、共通仕様書等の基準を守って施工できる金額で落札されているので、基準を守らず施工をしているのは、不適切(手抜き工事)ではないでしょうか。 行政機関の職員は、請負業者の指導をするのも仕事ではないのでしょうか。国や他県と同じようにするべきだと思いますので、適切な指導をお願いします。 また、道路パトロールをしているので、不適切な工事をしている場合は、その場で指導するべきではないでしょうか。

1. 行政一般

	日時	年代	～ 20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代～	不 明	住所	タイトル	意見等
15	2024/5/22	30代		1						鳴門市	基礎自治体について	○地方自治法に定める全国の47都道府県(即ち 徳島県)は「市町村を包括する広域的な地方公共団体」(地方自治法第2条第5項)であり、後藤田正純徳島県知事は基礎自治体である徳島県全県全ての24市町村の包括的な行政指導を行うこと又は行政処分を行うこと並びに国と徳島県全県全ての24市町村とのパイプ役や橋渡し役となつて、ほうれんそう(報告・総合的な連絡調整・相談)の仕事をしなければならない。 ※ 市の格付けは松(政令指定都市【札幌市・仙台市・新潟市・横浜市・川崎市・相模原市・さいたま市・千葉市・静岡市・浜松市・名古屋市・京都市・大阪市・堺市・岡山市・広島市・福岡市・北九州市・熊本市】)、竹(全国62市の中核市)、梅(政令指定都市並びに中核市以外の市⇒徳島市・三重県の県庁所在地の津市⇒津市は中核市への移行準備中・佐賀県の県庁所在地の佐賀市⇒佐賀市は中核市への移行準備中など) ※ 基礎自治体である徳島県全県全ての24市町村の地域住民一人一人が主役となる徳島県政 地域住民一人一人が主人公となる徳島県政でなければならない。
16	2024/5/22	30代		1						鳴門市	徳島県職員の所定労働時間の削減について	○後藤田正純徳島県知事は徳島県職員の所定労働時間の削減のために、労使協定で「一週間単位の変形労働時間制」の導入、「一箇月単位の変形労働時間」の導入、「一年単位の変形労働時間制」の導入、「フレックス・タイム制」(コアタイム・フレキシブルタイム)の導入をしなければならない。
17	2024/5/22	30代		1						鳴門市	徳島県庁改革について	○後藤田正純徳島県知事は、三菱商事の協力を得て「徳島県庁における総合商社化」を行って、徳島県庁の情報調査力・情報収集力・情報分析力・情報解析力・情報発信力・マネジメント力・マーケティング力などの強化で、徳島県が地方創生戦国時代に勝ち抜けるようにしなければならない。 ※ 具体的には、阿波踊りを「世界の踊り」に、「世界のカーニバル」(徳島のリオデジャネイロのカーニバル)に ※ 具体的には、徳島県を「世界の台所」に、「世界の新鮮食料供給基地」に
18	2024/5/24	30代		1						鳴門市	徳島県防災計画・徳島県土強靱化計画について	○後藤田正純徳島県知事は真賀一国土交通省大臣官房審議官を通じて、徳島県防災計画・徳島県土強靱化計画において、吉野川第十堰の可動堰化改築工事計画の事業着手、那賀川水系細川内ダムの建設工事の事業着手をしなければならない。
19	2024/5/25	30代		1						鳴門市	徳島新時代へ躍り出そう	○後藤田正純徳島県知事は、フィリップ・セトン フランス共和国駐日大使を通じて、徳島県にNATO日本事務所を開設しなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は、フィリップ・セトン フランス共和国駐日大使を通じて、徳島ヴォルティスとフランスサッカーリーグのリーグ・アンの各クラブチーム(パリ・サンジェルマンFC、ASモナコFC、RCランス・オリンピック・マルセイユ、FCナントなど)とサッカーでの業務提携が開始できるようにしなければならない。 ※ 私は、テレビ東京の「三菱ダイヤモンド・サッカー」のサッカー番組を視聴していたので、フランスサッカーリーグのリーグ・アンのことは知っている。 ○後藤田正純徳島県知事は、フィリップ・セトンフランス共和国駐日大使を通じて、パリ国際映画祭に「人生いろどり」並びに「祖谷物語-おくのひと-」がエントリーできるにしなければならない。
20	2024/5/25	30代		1						鳴門市	行財政改革について	○後藤田正純徳島県知事は身を切る行財政改革で、知事給料報酬の削減(月額給制への変更⇒ノーワーク・ノーペイの原則)、法定福利費の廃止(短期給付の医療給付並びに長期給付の年金給付・地方公務員災害補償)、旅費交通費の廃止(タイ王国や大韓民国等への海外旅行の禁止⇒国会で問題になつている。)、交際費の廃止(国会で問題になつている)、文書通信費の廃止(SNSの通信料⇒国会で問題になつている。)で行財政改革を前へ前へと進めなければならない。
21	2024/5/26	30代		1						鳴門市	地方創生戦国時代を勝ち抜くために～魅力度UP～	○後藤田正純徳島県知事は、徳島県民一人一人が「生まれて良かった 自然豊かな 美しいふるさと徳島県」、「住んで暮らして良かった 自然豊かな 美しいふるさと徳島県」、「ずっと居り続ける 自然豊かな 美しいふるさと徳島県」、「人に語れる 自然豊かな 美しいふるさと徳島県」、「人に誇れる 自然豊かな 美しいふるさと徳島県」、「みんな行きたい 自然豊かな 美しいふるさと徳島県」を実感できるように、ハード面(社会資本基盤整備)並びにソフト面(伝統文化・芸術)の両面からの二刀流の施策を積極的に展開しなければならない。 ※ 徳島県を「いのち輝く 世界の桃源郷 とくしま」にする。「いのち輝く 世界の理想郷 とくしま」にする。 ※ 徳島県を「四国88箇所霊場と遍路道」で「地上の楽園 とくしま」にする。「地上のユートピア とくしま」にする。 ※ 阿波踊りを「世界の踊り」にする。「世界のカーニバル」(徳島のリオデジャネイロのカーニバル) にする。
22	2024/5/27	30代		1						鳴門市	徳島を取り戻す	○後藤田正純徳島県知事は、島根県海士町を見習って徳島を取り戻さなければならない。 ⇒豊かな自然に恵まれた「美しいふるさと徳島県」の地方再生・地方創生・地方分権 ⇒新しい仕事や新規の雇用を生み出す(徳島バッテリーバレー構想で百人以上雇用できる百社以上のバッテリー関連企業の企業立地) ※ NHK総合テレビ 新プロジェクトX〜挑戦者たち〜隠岐 島に希望を取り戻せ(令和6年5月25日放送) ※ 徳島県民一人一人が主役となる徳島県政への改革を 徳島県民一人一人が主人公となる徳島県政への改革を ※ 徳島県民一人一人が実感できる安心度UP(安心して住める徳島県)を 全国に自慢できる魅力度UPを 見える化による透明度UPを
23	2024/5/29	30代		1						鳴門市	未利用の県有財産の売却計画について	○後藤田正純徳島県知事は未利用の県有財産の売却計画については、徳島県庁の徳島県民掲示板に未利用の県有財産の売却計画書を掲示しなければならない。そして、徳島県民に幅広く公示又は公告しなければならない。
24	2024/5/30	50代			1					三好市	建設産業人材育成フィールド講座について	無料講座なので申し上げることも憚られるのですが、せっかくの良い講座なので、今後受講される方に少しでも良い環境で受講いただければと思いますので、ご連絡いたしました。 ・建災防の御担当者様から身分証明書の提示を求められたのですが、案内にも受講票にも写しの提出が必要と書いていませんでした。 受講生の皆さん方は、初日にご担当者様から言われて提示していただいたので、予め申込書提出時にご同封頂くようご指示すればよいかと思いました。段取りだけの話ですので、次回から改善されたら良いのではと存じます。 ・2日目の開始時間が早すぎて、朝食が取れず出席となりました。6時間の実技のため、この時期だと19時頃まで外が明るいですが、午前11時スタートでも十分かと感じました。小松島方面が大変車で込むのを初めて知りましたので、遅めのスタートの方が受講生の皆さんが助かるかと思います。 ・木材利用創造センターでの技能講習(林業技術研修)でバックホウを見かけました。 同じ県の施設で徳島市内ですら、県高度技術支援課と協議して、日程を空けていただいて機械を使用したらリース会社で借用しなくても費用が掛からないと考えます。以前、高度技術支援課の職員の方から相当な予算額を確保した旨をお聞きしました。借用すると結構費用がかかる上に、今回のように小松島市まで遠方だと参加する人が大変ですし、何よりせっかく買った機械をフル活用しないのもったいないです。 ・大変良い講座なので、年数回程度開催すると喜ばれるかと感じました。場所を県西部・県東部・県南部に分けて開催するといいかと思います。三好市だと「林業アカデミー」ができましたから、そちらで共催するといった工夫を考えれば、予算手当も低く抑えられるかと考えます。 以上、ご検討賜れますと幸甚です。